

臨床研究

「胸部外科手術術前の心エコーにおける左室長軸方向ストレインと術後の心房細動発症率の関係」について

筑波大学附属病院麻酔科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

肺癌の手術の手術後は12-44%で心房細動を新規に発症するといわれています。手術前の心エコー検査でその発症を予測することで早期の治療が可能になります。本研究は心エコーの項目（左室長軸方向ストレイン）と術後の心房細動の新規発症の関連を調べるための研究です。

② 研究対象者

2011年4月1日から2018年10月31日までに当院で肺癌に対する手術を受けた成人の患者様です。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月31日まで

④ 研究の方法

当院での肺癌手術で術後に心房細動を新規に発症した患者さまと同様の手術で発症しなかった患者様の電子麻酔記録・診療記録・検査結果を比較検討し、心エコーの検査値と関連があるかを調査します。

⑤ 試料・情報の項目

血液検査データ、心エコー検査結果、診療記録、麻酔記録

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

該当しません

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

麻酔科 病院助教 田地慶太郎

⑧ 研究機関名および研究責任者名

同上

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：所属・担当者名：麻酔科 田地慶太郎

電話・FAX：029-853-3900(内線 90576) （平日9～17時）